

地域活動女性の役割拡大

滋賀大・水辺環境シンポ 2団体報告

滋賀大環境総合研究センターの年次シンポジウム「女性が語る水辺環境と地域づくり」が28日、大津市末広町の同大学大津サテライトプラザで開かれた。「栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会」（東近江市）と、認定NPO法人「びわこ豊穰の郷」（守山市）の女性役員らが活動を報告し、現状や課題について話し合った。



同協議会事務局の小の水質改善に向け、ゲ林弘子さんは、「水田シンボタルを増やす活への魚道づくりにも女性が参加するように学習など幅広く取り組み、その様子に違和感がなくなってきた」と男性社会だった地域の变化を説明。女性が地域活動に関わることで、討論では、女性主体の料理教室を地域同士の横のつながりづくりにつなげるアイデアや、女性にどんな形でも地域活動に関わりを持ってもらう必要性について意見を交わし

は、守山市の赤野井灣だ。（小川卓宏）

女性の視点から、水辺環境と地域づくりについて話し合われたシンポジウム（大津市末広町・滋賀大津サテライトプラザ）